



会長
高木 望さん



皆さま、新年あけましておめでとうございます。旧年中は、振興協議会の活動にご支援・ご協力いただき誠にありがとうございました。ございました。

住民自治組織としての運営も、今年の9月で丸7年となります。5つの部会のメンバーの積極的な取り組みで、実に様々な活動を行うことが出来ました。

巳年は蛇のように粘り強くとよく聞きませんが、脱皮をするへびから「再生と変化」が特徴の年とも言われるそうです。

毎年のように発生する異常気象による災害や絶えず起こっている世界各国での紛争、政治に翻弄される我々の暮らしなど、予測の難しい昨今ですが、住み慣れた中津江で少しでも安心して、楽しく生活できるように「みんなが主役のむらづくり」を合言葉に活動を継続していきます。

そして変わらない暮らしの中でも、振り返りや見直しを行いながら、新たな事にも取り組んでいく、「再生と変化」の一年になればと考えています。

本年も何卒よろしく

お願い申し上げます。



令和6年 活動の記録

- 3月10日… 避難に関する寸劇公演
- 3月13日… 日南市へ先進地視察
- 4月7日… 月いちバザール⑭
- 5月22日… 通常委員会（総会）
- 6月2日… 管内一斉防災訓練
- 7月24日… 雲仙市から視察受入れ
- 9月19日… 陶磁器フェスタ出展
- 9月27日… バスの日イベント
- 9月28日… 月いちバザール⑮
- 10月28日… 認知症に関する勉強会
- 11月17日… 第42回ふるさとまつり
- 11月22日… 佐伯市から視察受入れ
- 11月27日… 人権講演会

《主なイベント・行事など》

第42回 中津江村ふるさとまつり

令和6年11月17日(日)
*曇り時々晴れ時々小雨
約420名参加



沖野 真大(まさひろ)さん

会議は緊張しますが、色々な年代の人と話せる貴重な経験でした。今回も中津江らしい楽しい祭りにできて良かったし、自分も面白かったです。これからは同年代の仲間にも声掛けして、ふるさとまつり以外の地域のイベントにも協力していきたいと思っています。ありがとうございました。

主力となって動いてくれた沖野さんに、今回のまつりの感想や今後の思いなどを聞いてみました。

池ノ山に新設された、つえっ子こども園・長寿苑前で実施した昨年の「ふるさとまつり」。園児の踊りから民謡披露、中学生も参加したバンド演奏など、まさに老若男女、様々な皆さんが出演するステージイベントで、会場が温かい笑顔に包まれました。

ふるさとまつりから始まる
次へのステップ

**地域のお宝！
今月のご長寿さん..**



**田邊ケサ子さん
(池の山)92歳
昭和7年生まれ**

昨年、長く住まれていた鯛生から長寿苑に移住されたケサ子さん。職員の皆さんや周りの入居者の方から優しくしてもらい、ご飯も美味しくて、移って良かったと喜んでおられます。
恥ずかしがりで寂しがりな性格だった幼少期、穴峠への遠征や運動会が楽しみだったそうです。戦争に振り回され、家の手伝いなどに自わっていた青年期。卒業後は菊池で住込みの仕事に就き、慣れない仕事や家から出た寂しさなど、辛い3年間を過ごした後、近所の製材所に勤務。その時知り合ったご主人からの熱烈なラブコールでご結婚。長寿苑で見守りもしてもらいながら、みんなで食事を楽しんだりできる今の生活が幸せと話すケサ子さん。いつまでもお元気で。。

好きな食べ物はハンバーグとアサリ料理という大知くんの将来の夢は、サッカー選手になる事。憧れの選手はスペインの有名なサッカークラブ「レアルマドリッド」のエンバペ！家でもサッカーの練習をやるほどのサッカー好きで、小国町の8人制のサッカーチーム「バツサーレ阿蘇」にも加入。まさにサッカー漬け？の毎日のようです。学校では5人のクラスメートと仲良く遊び、走ることが得意なのでマラソン大会は楽しかったそうです。国語や図工も好きで、夏休みの工作は重曹アートで虹の絵を描いたとのこと。ただ算数は苦手、宿題が多いのもちょっと...とはにかみながら話してくれました。
〈お母さんより〉...いつも何にでも一生懸命な大知が大好きだよ♡
これから色々なことにチャレンジして頑張っね♪



**長谷部大知(だいち)さん
津江小学校 4年生**

**地域のお宝！
今月の若え〜し..**

**劇団「一蓮托生」
今年も魅せます！『寸劇』公演**

まもる部会員を中心に構成された劇団「一蓮托生」3年連続で暮らしを守ることをテーマとした寸劇を披露しています。
今年の寸劇のテーマは「認知症の方と地域で共に」劇で表現するには難しい題材ですが、分かりやすく楽しく、そして少しコミカルタッチ(?)に演じることができればと、演劇部出身の部会員が台本作りに励んでいます。3月9日実施の公民館まつりでの公演をお楽しみに！



**昨年度実施
「じいさん早よ避難するばい」**

**まずは乗ってみよう！
デマンドお試し事業やっています**

地域の移動手段として欠かせないデマンドバス。その利用促進を図るため、くらす部会では公共交通バスツアーの企画やデマンドバスの使い方を分かりやすく書いたチラシの作成などに取り組んできました。
今回は運転に不安のある高齢者の方に、1度実際に乗ってもらうための「お試し回数券」を発行。利用アンケートを検証して、今後少しでも安心して過ごせるよう、デマンドバスの運行方法に改善する点はないかなど、関係機関と協議していきます。



つれづれ

いつまでも暑い日が続き、今年は冬が来ないんじゃないだろ〜か...って思っていたが、ちゃんと寒くなった。しかも秋を通り越して一気に冬がきた気がする。昨年は夏も暑かったが、予報によると昨シーズンより冬の寒さも厳しいらしい。まあ、去年の寒さはもとより夏の暑さの事さえ忘れてしまっているのだが(笑)ただ、元日に忘れてはいけないことが... 昨年の元日に発生した能登半島地震。多くの人命や財産を奪い、今でも避難生活を送らなければならない人もいます。また年末には、北九州で狂人の刃で将来の夢を一瞬で奪われた中学生殺傷事件や火災で亡くなる方が続くなど、何ともやりきれないニュースが相次いだ。命の重さに違いはないと思うが、昨日まで元気に笑っていた人や、ともに汗を流していた人が突然なくなるのは辛い。だからこそ生きてる今を精一杯頑張らなくてはと思っています。「あなたは毎日、一生懸命呑んでるけどねえ〜。明日も呑めるように元気でいなきゃね」と隣から。慰めなのか諦めなのか...「え〜っと、今年も呑みます」(描蔵)
巳年も「むらづくり役場」をよろしく願います。
《事務局:永瀬英治・松尾成美》

今年も国勢調査！

5年ごとに実施されている「国勢調査」。今年、10月1日を調査日として実施されます。日本に住むすべての人と世帯を対象とした、最も重要な統計調査です。ご協力をお願いします。
そして国勢調査の中でも気になるのは、やはり中津江の人口推移。大正9年(1920年)に実施された第1回調査時の人口が3,328人。全体の人口が減少傾向にある日本ですが、さて今回は？

◆中津江村の人口推移(国勢調査)◆

大正9年(1920年)	⇒3,328人	*第1回調査時
昭和10年(1935年)	⇒7,528人	*最大人口
平成17年(2005年)	⇒1,194人	*市町村合併時
令和2年(2020年)	⇒621人	*前回調査時
※1920年~2020年⇒100年で81%減少		